

山口大学

学生特別支援室だより

News Letter



SSR学生スタッフの活動紹介

本学では、障害等のある学生の修学支援の一部を学生特別支援室（SSR:Student special Support Room）の学生スタッフが担っています。

支援には人手を必要とするものもあります。支援機器のメンテナンスやバリアフリー調査など支援環境整備も欠かせません。学生スタッフの活動は、修学支援ニーズと連動しつつ実施されています。

お仕事その1 修学上の支援

障害等のある学生への修学支援には、サポーターを必要とする場合があります。

⇒ 修学上のニーズに合わせて、SSRの調整のもと学生スタッフが活躍しています

修学上の支援の例

授業の情報保障	音声認識、ノートテイク、動画文字起こし…
授業中サポート	情報保障、移動補助、コミュニケーション支援…
支援準備	機材の調整、機材設置、マニュアル作成…

お仕事その2 修学環境整備

障害等のある学生のニーズは、障害特性のみでなく支援環境によって生じる可能性があります。

余裕のある時に、支援の可能性に備えたり、バリアフリー状況の確認などが行えていると安心です。

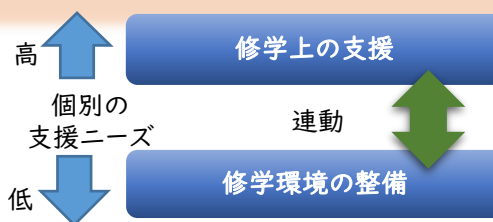
⇒ SSRの指導のもと、学生スタッフが担当し、適宜成果を公表しています。

修学環境整備の例

支援機器のメンテナンス	パソコン、Roger、音声認識…
支援のシミュレーション	遠隔支援、機材の有効活用…
学内バリアフリー調査	教室内設備、点字ブロック、身障者用トイレ、スロープ…
関連資料の作成補助	ニュースレター作成補助、資料の点訳版作成…

支援ニーズとの連動

障害のある学生の支援ニーズは学期毎に異なります。ニーズの多寡に合わせて、学生スタッフのお仕事内容を調整しています。



これまでの活動

学生スタッフは学生特別支援室(SSR)が設置された平成27年(2015年)から活動を始め、これまでにさまざまなお仕事内容を行ってきました。
以下はその一部です。

支援準備

- ・関連マニュアル作成
- ・支援シミュレーション
- ・支援機器の整備
- ・支援シミュレーターの実施 …など

人的支援

- ・ノートテイク
- ・文字起こし
- ・ガイドヘルプ
- ・授業中支援機器の活用補助 …など

学内バリアフリー調査

- ・講義棟バリアフリー調査
- ・駐輪状況調査
- ・身障者用駐車場調査
- ・身障者トイレ調査
- ・点字ブロック調査
- ・スロープ …など

資料作成補助

- ・News Letter
- ・ポスター
- ・支援関連冊子 …など

イベント補助

- ・研修会の開催補助
- ・オープンキャンパスのサポート …など

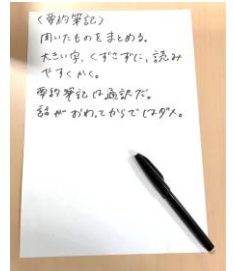
活動内容の紹介

本年度の活動を含め、具体的な学生スタッフの活動をご紹介します。

授業の情報保証（ノートテイク、文字起こし、音声認識…）

学生特別支援室では、ノートテイクや文字起こしなどの情報保障も手掛けています。

- 学生スタッフは支援に向けて、手書きでのノートテイクやパソコンでのテイク、2人での連携テイクなど、様々な場面に対応できるよう練習を行っています。
- ニーズに応じて、講義室でのリアルタイムのサポートや、動画の文字起こし等を担当します。
- 最近では、音声認識システムを活用する機会も増えてきたので、機材のメンテナンスや活用マニュアルの作成も並行しています。



学内点字ブロック調査

点字ブロック調査は、平成28年度から本年度まで4回にわたって行われています。

- 歴代の学生スタッフの調査成果を、学内担当部署に共有し整備の参考にしていただいています。
- 調査成果や要領を引き継ぐことで、経過が追えるようになり、定期点検も可能となっています。

実施年度	学内点字ブロック調査
平成28年度	第一回 調査
平成30年度	第二回 調査
令和2,3年度	第三回 調査
令和4年度	第四回 調査

場所：⑮⑯（理学部、人文学部の間）

挙げた理由：
・点字ブロックがはがれている。

改善案：
・点字ブロックを取り付ける。



前)
ったため、
かからな
る。
らう。



スロープ調査

学内のスロープの位置や現状を把握するために吉田キャンパスで実施しました。学生スタッフはメジャーを使用してスロープの幅を測ったり、実際に車椅子に乗ってスロープの使い勝手を確認したりしました。

調査項目

吉田キャンパス63か所、71地点を調査!

調査項目

- ・ 距離 (m)
 - ・ 高さ (cm)
 - ・ 最小幅 (m)
 - ・ 傾斜 (角度)
 - ・ 形状
 - ・ 手すりの有無
 - ・ 階段の有無
 - ・ 障害物の有無
 - ・ ドアの種類
 - ・ 使用感
- ※距離…傾斜の開始から終わりまで
 ※傾斜…幅に関してはそれぞれ三か所以上測定し、最も利便性の低い地点の値を使用した。

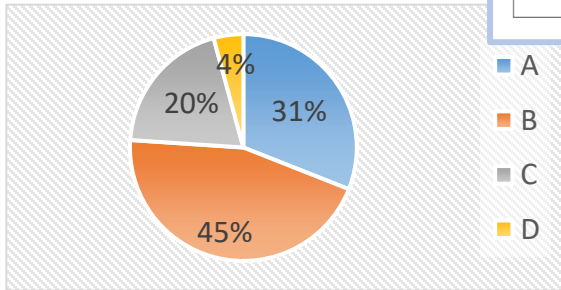


調査結果

バリアフリー法の基準に
使用感を組み合わせた
独自基準で評価してみたところ…



評価の高いA+Bが
全体の3分の2を占める結果に!



スロープの評価方法

※建築物移動等円滑化誘導基準
 ※建築物移動等円滑化基準

①幅、傾斜、段差・障害物等の3つの項目の3段階評価
 ○→1点、△→0.5点、×→0点として計算する。
 合計得点が2.5点以上をA 1.5点以上をB 1.0点以下をCとする。

幅	傾斜	段差 障害物等	調査項目の評価 基準
十分な幅 階段有: 1.2m以上 階段無: 1.5m以上	傾斜が緩やか 3.8°未満	無	○
通れる幅 階段有: 0.9m以上1.2m未満 階段無: 1.2m以上1.5m未満	注意する必要あり 高さ16cm以上: 3.8°以上~4.8°未満 高さ16cm未満: 3.8°以上~7.1°未満	有 (問題なく通れる)	△
通りづらい幅 階段有: 0.9m未満 階段無: 1.2m未満	急で危険 高さ16cm以上: 4.8°以上 高さ16cm未満: 7.1°以上	有 (通行の妨げとなる)	×

利便性の悪いスロープの例③・④ 傾斜



ほとんどのスロープは使いやすいそう。
ただし、なかには工夫が必要な箇所も。

音声認識システム有効活用のための実証実験

最近では、情報保障のために音声認識技術を活用する機会も増えてきましたが、音声認識のみでは情報が不十分なこともあります。

- オンライン授業を想定し、情報保障の向上につながる要素を検証しました。

検証方法

- ・ 誤認識を見つける練習→動画A、動画Bの誤認識アンケート実施
- ・ 本検証は3段階、段階が上がるごとに情報を追加
- 検証1 文章のみ
- 検証2 文章+無音の動画
- 検証3 文章+動画+動画音声 (答え合わせ)
- ・ リアルタイムの授業を想定し、1人の被験者につき1度きり実施
- ・ 文章中に誤認識を見つけたら、チェックして正解の単語を予想して書き、わからなければ「？」を書く。また、その文の内容把握ができるか(誤認識があっても分かるか)を1~5の5段階で評価
- ・ 動画A,Bの各文章の認識率を予想
- ・ 各動画の検証を終えて情報理解に関する感想を記入

結果② 補正正解率

・ 補正正解率→見かけの内容把握の程度、音声認識の誤認識に対して、被験者がどれくらい情報を補正しているかを表した指標
 補正正解率(%) = (正解数(個)/被験者数(人)) + アンケート内の正答認識文数(個) / アンケート内の総文数(個)

		補正正解率 (%)	実際の認識率との数値の変化 (%)
動画A	検証1	92.89	+6.12
	検証2	94.71	+7.94
動画B	検証1	69.12	+1.00
	検証2	70.56	+2.44

- ・ 情報量が増えると理解度は向上
- ・ 適切なタイミングでのテーマやキーワードなどの視覚情報の提示がポイント



支援機器の整備、支援シミュレーションの実施

学生特別支援室では、さまざまなニーズに対応できるように多様な支援機器を整備しています。学生スタッフはこれら機器の整備の手伝いと、機器の操作方法についてのマニュアル作成、使用のシミュレーション等を行っています。

● 支援機器の整備

支援機器の例

- 補聴システムをはじめ、拡大読書器、音声認識システム、車いすなどの機器の整備も行っています。
- 関連して支援のシミュレーションや、各種マニュアル作成も行っています。



テーブル
マイク II

パスアラウンド
マイク



ロジャーペン

タッチスクリーン
マイク



● 支援シミュレーション



ロジャーペンの接続確認



IPtalkの連続接続確認

● マニュアルの作成

ロジャーセレクトの基本操作方法

ミュート切り替え
中央を1、2回タップする。
赤い点滅はミュート状態。
緑は收音状態。

收音方向切り替え
特定の方向を收音したい場合は、周りの收音したい範囲をタップ。
全方向の場合は真ん中をタップ。



先生にご協力をお願い

①他の個別生徒・グループへの発言の際には、ミュートにしてください。

②全体への指示、発言内容を聞く必要があるときは、ミュートを解除して下さい。



本年度は、「SSR支援機器リスト」も作成しました！

2023年3月

山口大学 学生特別支援室 支援機器リスト

学生特別支援室では、障害等のある学生のための支援機器を整備しています。山口大学に所属する学生への障害支援のために貸出可能です。貸出し希望の方は、学生特別支援室までお問い合わせください。

- 「聞こえをサポートする機器」
 聴覚器 (ボイスメモ) Roger (補聴機能システム)
 聴覚器 (ソフトウェア) Roger
 音声ソフト
 デジタル発話
 音声認識システム
- 「見えやすさ」をサポートする機器
 拡大読書器 (縮小) IP
 拡大読書器 (縮小) IP
 拡大読書器 (携帯・保護用) IP
- 「読み書き」をサポートする機器
 点字ソフト (EXTRA) 点字機能
 点字機能 (点字) BrailleMemo SMART
 読み上げソフト (PC-Talker) 読み上げソフト
 点字ボード (点字) KokiPan
- 「移動」をサポートする機器
 履帯スロープ 車いす
 車いす用ケーブル 車いす
 歩行器 車いす (セーフティチーム)

<問い合わせ先>
 担当室で管理している機器は、SSRマニュアルで掲載しています。
 山口大学 学生特別支援室 (SSR)
 メインオフィス: 共通教育本館1階
 TEL: 083-933-5256
 E-mail: shien@yamaguchi-u.ac.jp
 http://ssr.uac.yamaguchi-u.ac.jp/

<協力>令和4年度SSR学生スタッフ:

吉田 (経済4年)、森岡 (農4年)、浅田 (教育3年)、近藤 (農3年)、福原 (人文3年)、藤井 (人文3年)、中島 (人文2年)、稲村 (教育3年)、大城 (工3年)、藤井 (経済1年)、松田 (経済2年)、永榮 (国際総合2年)、大島 (国際総合4年)

山口大学 学生特別支援室 (SSR)

メインオフィス: 共通教育本館1階

TEL: 083-933-5256

E-mail: shien@yamaguchi-u.ac.jp

このNewsLetterは、山口大学基金の助成により作成されています

